

市場の失敗 2 . 公共財

公共財の供給を市場に委ねると、価格が人々の限界評価より低くなる可能性が大きく、したがって供給量が過少になる可能性が大きい。

I. 公共財生産への資源配分

A. 公共財の意味

1. 公共財の利用

- a. 非競合性（集団利用が可能）
- b. 非排除性（条件付の場合もある。次項参照。）

2. 利用の競合性がない財サービスの供給

- a. 無料： 国防，消防，警察，基礎科学研究，道路，公園
- b. 有料： 有料道路，有料公園，公共放送（無料の国もある）

B. 最適配分の条件 —— 2 人のみの社会の例

1. 公共財 $p_1 + p_2 = MC$, p_1, p_2 はそれぞれは個人 1 , 個人 2 が支払う価格
2. 私的財 $p_1 = p_2 = MC$

II. 公共財が起こす問題とその解決策

A. 問題

1. 効率的な資源配分を実現する価格を市場で決定することが困難。
2. 市場に委ねた場合，供給が過少になる恐れがある（外部経済効果に似ている。）

B. 解決策

1. リンダール（Lindahl）の解 —— 最適配分を実現するための理論上の解
 - a. 限界費用を各個人の限界評価に応じて配分する。
 - b. 実行は困難
 - (1) 限界評価をどのようにして正しく表明させるか。
 - (2) ただ乗りの可能性（フリー・ライダー free-rider の問題）
2. 現実的な対策 —— 最適配分実現の保証はない。
 - a. 料金の強制徴収
 - b. 投票

参考文献

教科書 . 第 12 章 , 第 3 節 , 181–183 ページ .